



チャレンジワークの事前訪問、体育会・合唱の練習や文化祭の準備、中間考査、習熟度テスト、授業、部活動・・・と、たいへん忙しく10月を過ごしているうちに、水道から出てくる水が冷たくなり、蟻峰山が徐々に色づき始めていました。

保護者の皆さまには、あいさつ運動をはじめ、文化祭、体育会など学校行事にたくさんご参加くださり、ありがとうございました。11月は、いよいよチャレンジワークです。実際に職場で働かれている方たちと一緒に仕事をさせていただける貴重な体験を、進路選択につないでいけるように、ご家庭でも話題にしてください。

## 生徒会役員

10月5日に、新生徒会執行部の任命式がありました。

2年生の中から、生徒会長に石原若花さん、副会長に藤原昴さん、西山莉子さん、会計に畑鈴心さん、書記に中井優来さんが、校長先生から任命書を受け取り、代表で石原さんが所信表明をしました。これからは、2年生が学校の中心として動くことがふえてきます。先輩方から受け継いだ伝統と自分たちの色を織り込んで、ますます笑顔あふれる郷内中学校にしていきたいと思います。



## 文化祭

午前の最初のステージで、今泉優希香さんが「親友が教えてくれたこと」、藤原僚大さんが「日常にある親切」を、自分の体験をもとに、堂々と弁論で発表しました。

今泉さんは、病気で亡くした親友の尊い命を無駄にしたくないと、思い続けていたある日、2年生が言葉に気をつけ、互いの気持ちを考えながら生活していくよなっていることに気づき、親友が私たちに大切なことを教えてくれたことに感謝するとともに、親友がこれからもずっと私たちの心の支えになってくれる存在であると確信したことが強く伝わってきました。藤原さんは、外見ではわからない障がいが存在することを知ってほしいと同時に、障がいをもってることによって、たいへんなこともあるけれど、まわりの人たちの優しさや温かい言葉かけなどで、救われたこともたくさんあるという、感謝の気持ちが伝わってきました。また、これからは自分も困っている人の力になりたいという強い意思が伝わってきました。二人とも、自分の思いを自分の言葉で具体的に表現し、まっすぐな気持ちで聴衆に訴える表現力にも感動しました。すばらしい発表をありがとう。



## 合唱コンクール

A組では、文化委員の原さんと能勢さんを中心に、歌詞やメロディを覚えるために、毎日、歌う曲のBGMで給食を食べました。苦労した点は、男女の音量のバランスをとることでした。練習を重ねるごとにバランスがとれるようになり、本番では男子と女子の美しいハーモニーが響きました。

B組では、指揮者と合唱のテンポが合わず、歌う速度が速くなっていくことと、大きな声が出にくかった点に苦労しましたが、本番では、指揮と合唱のコンビネーションもよく、美しかったです。



## 展示の部

学年では、神戸防災学習をまとめた「はがき新聞」を展示しました。



### 2年生神戸防災学習



(裏面へ)



# 体育会

競技が終わるたびに、勝ったクラスから歓声があがり、もう一つのクラスは、涙、涙。一生懸命に打ち込んでいるからこそ、感じられた喜・怒・哀・楽。勝っても負けても友だちを思いやる言葉をかけ合い、学年、学校全体がハートフルとパワフル全開になった体育会でした。行事で成長を感じられ、うれしい10月でした。



当日の朝の A 組の黒板



B 組の黒板



## 保護者の皆様へ

11月14日(火)から16日(木)までの3日間は、職場体験学習(「倉敷チャレンジワーク14」)です。生徒は、すでにお世話になる職場を訪問し、当日の持ち物や服装などの打ち合わせを終えています。ほとんどの職場で、昼食のお弁当が必要です。ご準備をお願いします。また、朝夕は冷え込みますので、手袋や学校で許可しているウインドブレーカーなどを着用させてください。なお、前日の13日(月)の6時間目は、事前指導になるため、午後の部活はありません。また、職場体験活動の3日間は、職場から自宅の往復で、帰宅後に学校に電話連絡をするようにしています。(485-0055)

3日間、行き帰りを含めて、安全に活動できますよう、ご協力よろしくお願いいたします。